



森杉典子議員

新しい生活様式
定着のための取り組み

問 市の窓口に出かけなくても、オンラインによる各種サービスを受けられる取り組みの推進状況は。

答 令和3年度の保育所などの入所申し込みを、オンラインでの申請もできるようにした。今後は、慣例的な押印廃止と併せ、可能なものから電子申請化を行うていく。

問 非対面で荷物を受け取れる宅配ボックスの設置推進は。

答 新たに創設する新しい生活様式に対応する住宅リフォーム助成制度の中で、在宅ワークスペース確保のための間取りの変更や、固定式の宅配ボックスの設置なども助成の対象となっている。現段階では、こうした助成制度を利用していただくことを考えている。



タブレットで学習する児童

GIGAスクール
構想の推進は

問 本市における小中学校のICTを活用した学習のための端末や機器の整備の進捗状況は。

答 全児童生徒に1人1台のタブレットを整備し、3学期から活用する。今後、家庭で通信費が必要になったときには、ICTの活用状況を踏まえて、家庭学習でも継続できるよう検討していく。



ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。QRコードを読み取ってご覧ください。※パケット通信料がかかります。

木下正議員

雇用調整助成金と
休業支援金・給付金

問 雇用者や労働者にとり重要な助成金制度である。市内の申請件数や支給率の把握はできているか。

答 雇用調整助成金の申請は雇用調整助成金センターなどへ、休業支援金・給付金の申請は厚生労働省へとなっているため、静岡労働局に確認したが、市町単位での把握はしていないとのことである。



高南コミュニティセンター

まちづくり協議会による
まちづくり活動

問 高南まちづくり協議会では草刈り隊、治水対策特別委員会、防災講座などで活動が活発になっている。今後の担当窓口として役割を問う。

答 地域住民のニーズに対する取り組みがなされており、今後交付金による財政支援など、地域づくりが円滑に進むよう支援をしていく。

近藤正美議員

防災力のさらなる強化は

問 ICTを活用した防災力強化への方策はどうか。

答 現在、災害対応支援システムの導入を進めている。災害発生時の人的被害や物的被害をシステム上で一元的に管理できるので、より迅速な災害対応の意思決定が可能となり、より多くの人命救助と被害の拡大防止につながる。

SDGsへの具体的な
取り組みは

問 プラスチックごみによる海洋汚染防止の取り組みは。

答 ①ごみを減らす、②再利用する、③再資源化するに加えて、その前段階の④ごみとなるものを断ることで、レジ袋の有料化に併せて、使い捨てプラスチックごみの削減や適切なごみ回収ができる体制づくりに取り組んでいく。

子どもの学び育つ
環境の保障を

問 学校の長期化で学習の遅れや学力差の広がりを懸念するがどうか。

答 児童生徒の学習の理解度や学力差について、例年と比較して大きな変化は見られない。体験的な活動や行事、特別活動でつながりや絆を感じられる活動に取り組んでいる。



新型コロナウイルス感染症予防に対応した避難所設営訓練